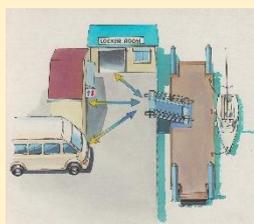
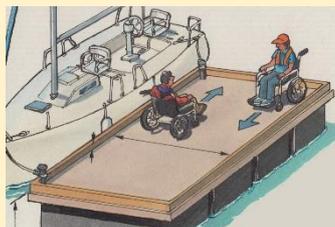


特定非営利活動法人日本障害者セーリング協会(PSAJ) **パラ(障がい者)セーリング支援プロジェクト** **障害者セーリングで社会貢献！**

【海の障害者設備指針」普及活動】

障害当事者(本会です)が国土交通省の協力で作った海の障害者設備指針を全国へ啓発、実施。
国交省、地方整備局、地方自治体等への働きかけや海の駅、マリーナ、ポート教室、漁港などの施設について障がい者用設備への普及活動を行います。
指針の基準に合った施設で強化拠点の認定、海の障害者マークの掲示活動等実施。



「港福連携」アクションキャンペーン

「海の障害者設備指針」(国土交通省協力)を全国各地で啓発。本指針をもとに勉強会の開催や調査、施設整備の陳情、強化拠点の認定で各方面に推薦、海の障害者マークの掲示活動等々実施いたします。

【障害者セーリング研究会】

障がい者セーリング 30年間のノウハウを未来につなげる海の障がい者支援の研究。アクセシブルでインクルーシブな海への研究啓蒙。

公式な「障害者セーリング」や指針ガイドなどの著作、出版。パラ(障がい者)関係勉強会の開催。

各種パラ(障がい者)セーリング実務に関する調査、研究。

アドボカシー活動も担い、海の障がい者関連の相談に対応。

【パラセーリングチャレンジ】

障害を持ってセーリングが出来る事を体験し理解を深める多様なセーリングへの入門体験。

パラ(障がい者)セーリング、海の障がい者スポーツの普及紹介。

地域ボランティアの養成。海の社会福祉の向上。

障がい者セーリング、障がい者スポーツは地域社会とのつながりが大切、社会福祉協議会、ボランティア市民センター等地域社会に理解を広め連携協業して実施。地域団体、クラブ等との協業としても実施。



【パラキャプテンチャレンジ】

海の障がい者の人権啓発活動。当会の小型船舶欠格条項改正活動を紹介。
免許取得に必要な身体機能検査を実施。
ボート・ヨット提供のオーナーのボランティア協力で小型船舶船長の体験も。



【強化合宿】

パラリンピックを次世代に繋げるべく、パラワールド選手権等世界大会を目標に国際選手を育成。
(パラリンピックへは 1996 年競技採用からロンドンまで参加。JPC 加盟団体として経験豊富)
障害者スポーツとしてメディカルチェックや社会規範、アンチドーピング、ルールなどの講習。



【パラワールド選手権チーム派遣】

パラリンピックに次ぐ障がい者のレースの最高峰。2019 年はスペインで開催。
(PSAJ は 1994 年アジアから最初に世界選手権に参加して以来、挑戦し続けています)
強化合宿で障がい者スポーツの講習をしっかりと受講し価値を守れる方から派遣。



【パラ家族セーリング教室】

家族と共にセーリングを楽しく学ぶ教室。海の楽しさを体験し海に関心を持ってもらう。
障害をお持ちの方とその家族及び家族に障がい者がいる方を対象。



【パラ(障がい者)指導者講習会】

パラ(障がい者)セーリングの安全安心の確保やパラリンピックを伝える講習会。
障害別の注意やハラスメント、乗降介助体験等パラ(障がい者)セーリングの指導員として学びます。



【コーチ・テクニカルデレゲート講習】

公認障がい者スポーツ指導者、日本スポーツ協会指導者、パラセーリング指導者等を対象にパラリンピックを伝え、世界やパラリンピックを想定した障がい者に対応したコーチが出来る方を養成する。またIPC規格の障がい者のレース、行事で設置されるテクニカルデレゲートを認定する。



【マリン事業者障害者対応講習会】

行政、マリン事業者関係者に障害体験や注意事項、障害者差別解消法、海の障害者設備指針などに理解を深める為の講習を実施。

海で障害者設備指針の解説で事業者の合理的配慮を。



【ソーシャルセーリング講習会】

次の世代(学生、児童生徒を含む)を対象にパラセーリングのボランティアを啓蒙し繋げて行く講習会。
ボランティアの社会貢献活動を理解し活動参加へ道を開く社会福祉等との協業の講習会。
ボランティア経験のフィールドワークとパラ支援のセーリング実習含め海の福祉を学ぶ。

